

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 18 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 牧野 直樹	
環境-16	実施事業	動物愛護推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	野生鳥獣等への対応

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	犬・猫を飼育する市民等	・犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。 ・鎌倉市取納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。 ・狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。 ・犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。 ・猫の不妊去勢手術を勧奨し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。 ・飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。 ・犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。
意図	狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。	
効果	狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	5,650	6,373	当初予算(千円)	4,108		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	5,650	6,360	その他	4,108		
	一般財源	0	13	一般財源	0		
	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5		
事業経費運営	総事業費(千円)	17,218	18,613	総事業費(千円)	27,214		
	市民1人当りの経費(円)	98	105	市民1人当りの経費(円)	154		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある			
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある			
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している			
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している			
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している			
		協働実施済の場合のパートナー 神奈川県獣医師会、湘南獣医師会			
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直し内容の種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直し内容の種類	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	動物愛護の推進を図るため、犬の適正な登録及び狂犬病予防注射の接種、猫の不妊去勢手術の実施、犬・猫の適正飼育の啓発等の事業は、獣医師会等関係機関と連携し、継続的に行う必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				
総評(評価に対する考え方、根拠等)	近年、犬や猫は伴侶動物と呼ばれ、家族の一員として迎えられる犬や猫がいる一方、不適切な飼育に起因する生活トラブルを発生しており、市内の快適な生活環境の保全及び市民に動物愛護の精神を普及するため、法令に基づく適正な飼育について継続的に周知・啓発に取り組む必要がある。				

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	犬の狂犬病予防接種や、犬の適正登録推進について神奈川県獣医師会等関係機関と連携し周知・啓発を図っていく。鎌倉保健福祉事務所と協力し、飼い主のいない猫被害の現状を把握し動物保護団体とも連携し地域で適正飼養する地域猫対策の周知・啓発を図っていく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	神奈川県獣医師会等関係機関と連携し、狂犬病予防接種の周知・啓発を行い、狂犬病予防集合注射を実施した。また、広報かまくらやホームページ等での周知・啓発により、犬の適正な登録の推進を図った。鎌倉保健福祉事務所、動物保護団体と連携し、猫の適正な飼養について啓発を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	犬の狂犬病予防注射接種率が減少傾向にある。飼い主のいない猫(野良猫)を地域で適正飼養する「地域猫活動」の市民への認知度が高まらない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和元年度 犬の登録数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	横須賀市				
他市実績	10,318	22,629	3,318	22,407				
比較事項	令和元年度 狂犬病予防注射率							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	横須賀市				
他市実績	72.8%	78.4%	76.7%	77.9%				
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	登録されている犬の狂犬病予防注射接種率	単位	%	指標の傾向	備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
登録されている犬の狂犬病予防注射接種率の向上を目指す各施策の効果を測るため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	77.7	77.0	77.0	73.7	74.8	72.8	
	達成率	77.7%	77.0%	77.0%	73.7%	74.8%	72.8%	
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	狂犬病予防注射の接種率が減少傾向にあるため、引き続き未接種犬への接種勧奨通知などにより接種率の向上対策に取り組む。							